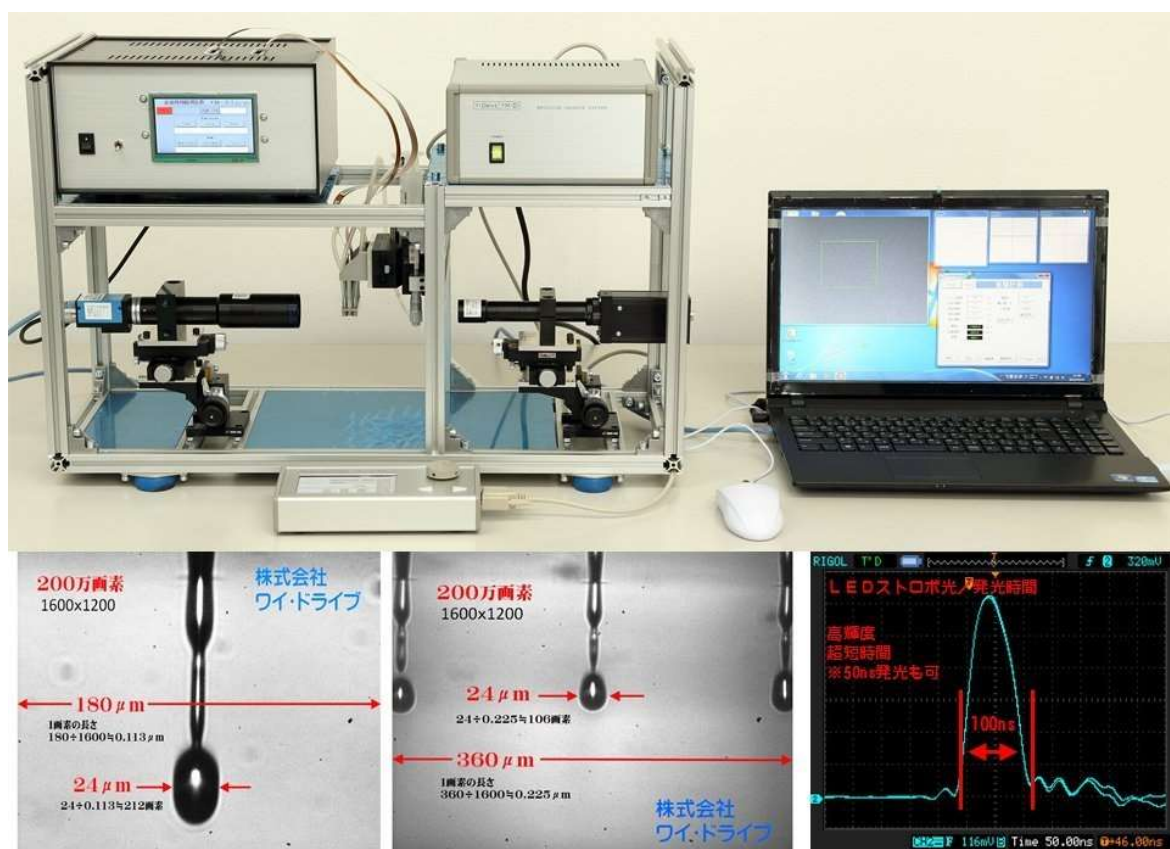


株式会社 ワイ・ドライブ

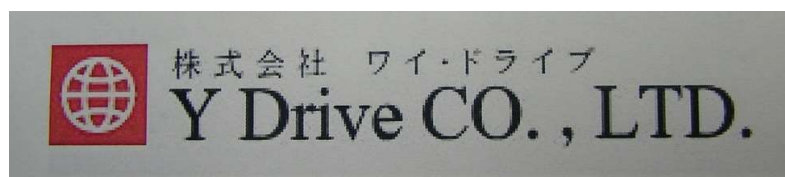


2021年度環境経営レポート

(対象期間: 2021年9月1日 ~ 2022年8月31日)



得意のインクジェット吐出制御技術で液晶
有機ELテレビの製造を後押し



作成日: 2022年9月9日

□ごあいさつ

当社は、プリント・エレクトロニクス技術を開発、追求する会社です。

インクジェット工法、マイクロナノ成型工法、印刷工法による電子デバイス制作及び微細 2D・3D印刷配線/構造体制作を目指します。

株式会社 ワイ・ドライブ

代表取締役 山崎智博

環境経営方針

当社は、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、計測機器の設計・開発及び製造活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の削減及び再生利用に努めます。
4. 水使用量の削減に努めます。
5. 化学物質の適正管理に努めます。
6. グリーン購入、グリーン調達に努めます。
7. 環境に配慮した製品の研究開発に努めます。
8. インクジェットの特性を活かした多品種少量生産の商品開発に貢献します。
9. 環境経営の継続的改善を実施します。

制定日：2014年7月1日

改定日：2014年12月17日

代表取締役 山崎智博

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 ワイ・ドライブ

代表取締役 山崎 智博

(2) 所在地

本 社 大阪府四條畷市南野 1 丁目 1 4 番 1 6 号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 加藤 敬

TEL : 0 7 2 - 8 1 2 - 2 0 6 1

担当者 加藤 敬

FAX: 0 7 2 - 8 1 6 - 2 0 6 2

(4) 事業内容

デジタル機器の検査機器の設計開発・製造及び販売

主要製品：回路設計、電子基板、デジタル機器の検査機器

(5) 事業の規模

製品出荷額 0.5 億円

	本社
従業員	7
延べ床面積	654

(6) 事業年度

9 月～8 月

□認証・登録の対象組織・活動

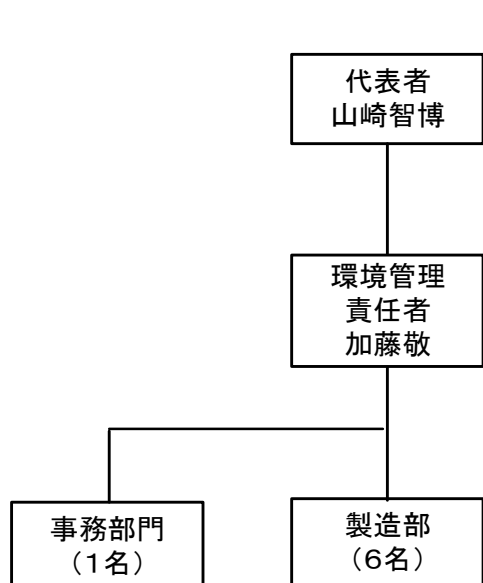
登録事業者名： 株式会社 ワイ・ドライブ

対象事業所： 本社

対象外： 無し

活動： デジタル機器の検査機器の設計開発・製造及び販売

□体制表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営方針に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理 責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境経営方針の周知 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画書を作成 ・必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営計画の実施及び達成状況の確認 ・環境経営の実績集計 ・想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素 総排出量	kg-CO ₂	5,838	5,672	5,471
廃棄物排出量	kg			
一般廃棄物排出量	kg	97	97	98
産業廃棄物排出量	kg	0	0	0
水使用量	m ³	—	38	38

※電力の二酸化炭素排出量換算値

0.340 kg-CO₂/kWh

令和元年度排出係数

※関西電力 調整後排出係数

0.350 kg-CO₂/kWh

令和3年度排出係数

□環境目標及びその実績

項 目		年 度	基準値 (基準年度)	2021年		2022年 (目標)	2023年 (目標)
				(目標)	(実績)		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	基準年比	5,753 2019年	5,638 98%	5,084 88%	5,638	5,638
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	基準年比	1,124 2013年	562 50%	388 34%	562 50%	562 50%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂		6,877	6,200	5,471	6,200	6,200
一般廃棄物の削減	kg	基準年比	100 2013年	96 96%	98 98%	95 95%	95 95%
水道水の削減	m ³	基準年比	40 2019年	40 100	38 95%	38 95%	38 95%
グリーン調達 1 グリーン資材	%	—	— チェックリ	40%	61%	50%	50%
グリーン調達 2 ROHS対応, 鉛フリー	不使用	—	— チェックリスト	○	◎ ※1	○	○
環境配慮の製品 微小電力基板開発	設計目標 指数		100 自社比	80	80	70	70

※1 ROHS対応、鉛フリーは、継続して対応できた。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度の取組	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減			
数値目標	○	基準年見直し	暑い時期は、クーラーを常時運転するので、目標値を達成できなかったが、年間を通して、目標値を達成する事ができた。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	継続	
・使用頻度の少ない不要照明の消灯	○	継続	
・仕事の効率化による残業の軽減	○	継続	
・照明器具の定期的な清掃、点検	○	継続	
自動車燃料による二酸化炭素削減			
数値目標	○	変更なし	以前の事務所は、駅から離れていた ので、社用車を使用する機会が多 かったが、現在の事務所は、駅が近 いので、社用車を使わなくなった。
・アイドリングストップ	○	継続	
・効率的なルートで配送	○	継続	
・エリア別営業活動の見直し	○	継続	
・エコドライブプロジェクトに参加	△	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標	×	変更なし	目標年度のゴミの個数と同じでも、 値が小さいので、比率計算すると未 達になってしまう。目標値の削減率 を、100%に見直す。
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	継続	
・発生するゴミの減量化（圧縮など）	○	継続	
・梱包材の再利用	○	継続	
水道水の削減			
数値目標	○	基準年見直し	コロナ禍により、手洗い回数が増える ので、水の使用量は増える傾向で ある。
・節水シールの貼り付け	○	継続	
・台所のシャワー蛇口取付	○	継続	
グリーン調達 1, 2			
数値目標	○	変更なし	コストが許される範囲で、環境に配 慮した製品を購入した。
・グリーン購入選択の把握	○	継続	
環境配慮の製品開発			
数値目標	○	変更なし	設計開発の深堀を継続する
・RoHS対応品の採用	○	継続	
・鉛フリー半田の使用	○	継続	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物（紙くず、繊維くず、木くず、生ごみなど）
家電リサイクル法	冷蔵庫
小型家電リサイクル法	小型家電96品目
グリーン購入法	購入品・調達品
取引先グリーン調達基準	禁止物質の不使用
労働安全衛生法	有機溶剤の適正管理
フロン排出抑制法	定期・簡易点検、フロン機器の廃棄時適正処理
RoHS指令	電子機器への有害物質の非含有

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反の指摘、訴訟等は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

- ・環境活動における当社の取り組みは、概ね社員全体の意識として取り組んでいると評価する。
- ・各自が努力して、日々小さな活動を行う事によって、年間での実績値になると、大きな成果として現れるので、継続して運用していく。